

身近になったマイナンバー制度を理解する



マイナンバー実務検定

総務・人事・経理・IT技術者・管理職に必須のマイナンバー知識

[マイナンバーカードの利用がさらに拡大していきます]



マイナンバーカードの健康保険証としての利用がいよいよ始まりました。この後、2024年以降には運転免許証としても使用できるようになり、日常生活の様々なところで活用できるようになっていきます。

試験日程

第33回

2023年 **3月12日(日)**

申込期間

第33回 **11月8日(火) ▶ 2月16日(木)**

※会場によっては期日前に申込受付を締切ることがございます。
※公開会場、オンライン・ライブ検定も同日締切

オンライン・De・資格キャンペーン

—こんな時代だから資格を取ろう—

マイナンバー実務検定 SMART 合格講座

[収録内容]

- ・ SMART 動画 4時間50分
- ・ SMART 答練 2時間30分
- ・ SMART 模試 1級・2級・3級 1回分
- ・ 「【新版】マイナンバーの教科書」付

オンライン de 資格キャンペーン

5,500円引き

★★★★★★★★



定価

15,400円(税込)のところ

今だけ特別価格

⇒ **9,900円(税込)**

詳しくは ▶ https://www.joho-gakushu.jp/smartinfo/k_nns/

実施概要

	試験時間	検定料
1級	10:00~12:15	11,000円(税込)
2級	10:00~11:45	8,800円(税込)
3級	10:00~11:15	7,700円(税込)

※試験を10名以上同時に申し込まれますと割引価格がご利用いただけます。
31名以上同時にお申し込みをされる場合は、当協会までお電話ください。

試験会場

- 札幌… 北農健保会館
仙台… 学校法人北杜学園(中央6号館)
東京… 東京大学(駒場1キャンパス)
横浜… 岩崎学園 横浜西口2号館
埼玉… さいたま共済会館
千葉… 千葉県教育会館
- 名古屋… 愛知大学(名古屋キャンパス)
津… サン・ワーク津(第5会議室)
大阪… 大阪経済大学70周年記念館(A館)
神戸… 神戸市教育会館
福岡… 福岡朝日ビル
- ※会場の詳細はホームページをご確認ください。

● オンライン・ライブ受験も同時実施

全情協が実施している各種検定試験

- PIPL** 個人情報保護士認定試験
法改正により全ての事業者で個人情報保護法が適用されます。
- ISME** 情報セキュリティ管理士認定試験
情報セキュリティリスクと対策に精通したエキスパートを認定
- ISF** 情報セキュリティ初級認定試験
情報化社会の必須知識! セキュリティ対策の基本知識の理解
- DXA** DX推進アドバイザー認定試験
DX実現に向けて議論したりアドバイスできる人材
- DXO** DXオフィサー認定試験
DX実現に向けて各種のマネージャーやオフィサーとして活躍できる人材
- DXP** DXパスポート試験
DXの基礎を学ぶ検定試験
- CCM** 企業危機管理士認定試験
企業危機マネジメントのプロを養成する資格
- NNS** マイナンバー実務検定(1~3級)
マイナンバー制度を理解し、適正な取扱いをするための資格
- CMO** マイナンバー保護士認定試験
マイナンバー法の理解・安全管理・セキュリティを学ぶ資格
- CCC** 民法法務士認定試験
民法の基礎から実務者レベルまでを学習する資格
- PIPL** 個人情報保護実務検定(1~2級)
個人情報保護法の理解と保護の実践力を身につける
- WSM** 働き方マネージャー認定試験
働き方改革の概要を学ぶ上級クラスの資格
- WSRM** 働き方マスター試験
働き方改革の概要を学ぶ中級クラスの資格
- LIC** 労働法務士認定試験
人事・労務・法務などで必須の労働法に精通したエキスパートを認定
- NSE** 認定ハラスメント相談員1種試験
ハラスメントを未然に防ぐ為の頼れるエキスパートを養成する資格
- NSE** ハラスメントマネージャー1種認定試験
ハラスメントの基礎知識から管理体制の構築を行う実務能力を認定
- DSM** 女性活躍マスター試験
ダイバーシティ・マネジメントと、活躍したい女性を応援するための試験
- TOURISM TEST** 観光検定
観光に関するあらゆる知識水準を級とポイントで評価
- IB** インバウンド実務主任者認定試験
インバウンドビジネスを有利に展開するために必須の資格
- CAC** 会社法法務士認定試験
法務・総務・人事・管理職の方に! 会社法のプロフェッショナルを養成

お申込みはホームページから ▶

<https://www.my-number.or.jp/>

マイナンバー検定 **検索**



お問合せ先

03-5276-0030

試験内容・過去問題

	3級	2級	1級
出題範囲	<ul style="list-style-type: none"> 番号法成立の経緯・背景 番号法の概要 個人と番号法 民間企業と番号法 地方公共団体・行政機関・独立行政法人等と番号法 番号法のこれから 罰則 特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（事業者編） 関連法令等 	<ul style="list-style-type: none"> 番号法の背景・概要 第1章 総則 第2章 個人番号 第3章 個人番号カード 第4章第1節 特定個人情報の提供の制限等 第4章第2節 情報提供ネットワークシステムによる特定個人情報の提供 第5章第1節 特定個人情報保護評価等 第5章第2節 行政機関個人情報保護法の特例等 第6章 特定個人情報の取扱いに関する監督等 第6章の2 機構処理事務の実施に関する措置 第7章 法人番号 第8章 雑則 第9章 罰則 附則 特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（事業者編） 関連法令等 	<ul style="list-style-type: none"> 番号法の背景・概要 第1章 総則 第2章 個人番号 第3章 個人番号カード 第4章第1節 特定個人情報の提供の制限等 第4章第2節 情報提供ネットワークシステムによる特定個人情報の提供 第5章第1節 特定個人情報保護評価等 第5章第2節 行政機関個人情報保護法の特例等 第6章 特定個人情報の取扱いに関する監督等 第6章の2 機構処理事務の実施に関する措置 第7章 法人番号 第8章 雑則 第9章 罰則 附則 特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（事業者編） （行政機関等・地方公共団体等編） 金融業務における特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン 関連法令等
合格基準	70%以上の正答		
試験時間	60分	90分	120分
問題数	50問	60問	80問

マイナンバー実務検定 過去問題に挑戦

【問】個人番号に関する以下のアからエまでの記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。[2級]

- ア. 外国人は、日本に居住して住民票がある者であっても、個人番号の付番の対象になっていない。
- イ. 外国に住所があるなど、日本に住所がない場合であっても、日本の国籍を有する者は、個人番号の付番の対象となっている。
- ウ. 個人番号は、住民票の記載事項とはされていない。
- エ. 死者の個人番号には、番号法で「個人番号」を対象としている利用制限等の規定が適用される。

解答:エ

【問】個人番号カードに関する以下のアからエまでの記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。[3級]

- ア. 個人番号は、個人番号カードの裏面に記載されている。
- イ. 発効日において20歳以上の者の個人番号カードの有効期限は5年である。
- ウ. 国外に転出した者の個人番号カードは、効力が失われる。
- エ. 個人番号カードのICチップ内には、氏名、住所、生年月日、性別、個人番号等が記録されているが、税や年金などの情報は記録されない。

解答:イ

合格者の声

じっくり勉強し
2級に合格しました。

IT系管理部部长
(男性 43歳)

前回のマイナンバー実務検定3級に続き、今回は2級にチャレンジし、合格しました。個人番号を取り扱う仕事をする上で、2級合格は非常に重要であると考えたからです。テキストを繰り返し読み、過去問題を徹底して解いたことで、苦手な部分を解消できました。マイナンバーの取扱いを厳正に行わないと、企業イメージを損ねかねません。

マイナンバー実務検定の受験をきっかけに、マイナンバー制度の知識を深め、安全管理の強化に一層努めたいと思います。



本検定の参考書籍

NEW!



【改訂新版】
マイナンバー
の教科書
著:弁護士
水町 雅子
¥2,200(税込)



【新版】
マイナンバー
実務検定
精選過去問題集
(1・2級)
各¥1,980(税込)

オンライン・ライブ検定とは

オンライン・ライブ検定をご希望の方は、パソコンとWebカメラ（視野角120°以上）をご用意下さい。2024年度より360°全周 Web カメラのみの利用となります。

本検定試験はいわゆる「ネット検定」と言われるものと異なり、Web カメラで本人確認と不正防止を行うシステムを備えて、カンニングを防止して実施する、公開会場と同等の厳格な検定試験です。

合格者には合格証書、本人の写真付きの合格カードを発行いたします。「オンライン・ライブ検定」は以下の要領により実施いたします。

なお、スマートフォン、タブレットは利用できません。

【受験会場】

受験可能な場所

会社、学校、自宅、知人宅など、どこでも、インターネット環境が整備されていれば受験することが可能です。ただし、試験中は他の人と話したり、接触したりすることはできませんので、できるだけ静かな場所、他の人と接触しない場所をお選び下さい。海外で受験することもできます。ただし、環境整備はご自身の責任でお願いします。



【受験者の方にご用意していただくもの】

1. パソコン・Webカメラ（視野角120°以上）

デスクトップパソコン、ノートパソコンの何れでも受験可能です。スマートフォンやタブレットでは受験できません。問題も回答欄もパソコン上です。受験には視野角120°以上の Web カメラが必須となります。



120°カメラ 360°カメラ



2. インターネット環境の整備

インターネットは、有線でも Wi-Fi でも構いません。

3. 受験時の持ち物

問題用紙がありませんので、メモを必要とする場合のために、A4までの白紙1枚と鉛筆又はボールペンなど1~2本を机の上に持ち込むことができます。ただし、筆箱の利用は禁止です。書籍、ノート、スマートフォン、その他の物品は机の上に置くことができません。

【オンライン・ライブ検定 受験の流れ】

1. オンライン・ライブ検定システムによる受験方法

- ①試験開催日の一週間前までにメールで「受験票」を配信します。
- ②本試験用のサイトにアクセスし、「受験票」に記載の受験者IDとパスワードでログインしてください。
- ③合格カードに利用するご自分の写真を Web カメラに向かって撮影してください。
- ④Web カメラを横に置いて、受験中に自分の顔、手元、パソコン画面の3点が映るかを確認して下さい。
- ⑤検定システムがスタートすると、まずオンライン映像により「受験上の注意」を行います。
- ⑥次に「留意」「始め」の合図があったら、「開始ボタン」を押して試験を開始します。自動的に試験が開始し、制限時間がカウントダウンされ、所定の時間が経過すると自動的に試験が終了されます。
- ⑦制限時間になると、映像で試験終了のアナウンスと解答速報、証書交付などのスケジュールが告知され試験がすべて終了します。

2. オンライン・ライブ検定システムによる回答方法

- ①本検定システムでは、2択・4択・5択の3種類の設問形式があり、設問が1番より、順次表示されますので、回答を選択して下さい。
- ②なお回答は、必ずしも順次答える必要はありません。飛ばしておいて後で答えたり、戻って訂正することもできます。

※本リーフレットは、協会ホームページよりPDFにてダウンロード頂くことができます。社内回覧などにご利用下さい。

<https://www.my-number.or.jp/>

■お問合せ先
03-5276-0030

一般財団法人
全日本情報学習振興協会
東京都千代田区神田三崎町3-7-12 清話会ビル5F
FAX:03-5276-0551